

卒業生インタビュー!

女子バスケットボール部のマネージャーとして、選手たちをサポートしてきた荘加さんと、硬式野球部のピッチャーとして活躍した宮城さんにお話を伺いました。

Voice 新天地“新潟”で女子プロチームをサポート

一般入試で名経大へ入学。大学でしかできないことを探していた時、頑張っている女子バスケットボール部を支えようとマネージャーに。元々バスケ選手だったので選手の気持ちも理解でき、より良い環境づくりのお手伝いできればとの思いからでした。現在は、女子バスケ・プロチームのマネージャーとして初めての一人暮らしも経験。環境は変わっても楽しいことを見つけ、頑張っている人を応援したい。何よりも誰かのためになることがしたいとの思いが、今の私を支えてくれています。

法学部卒業 荘加紗雪さん ●女子バスケットボール部・マネージャー 岐阜県立多治見高等学校出身



女子バスケットボール部メンバーと卒業の記念撮影(左から3番目)

就職先 ●新潟アルビレックスBBラビッツ



Voice 沖縄から犬山(愛知県)そして新天地“北海道”での活躍を誓う



硬式野球部メンバーと卒業の記念撮影(前列右端)▲

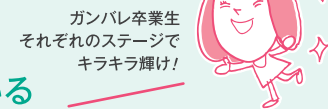
同郷のサークル「沖縄県人会」メンバーと(前列左端)

就職先 ●北海道警察本部

資料請求して直ぐに名経大広報センターからの電話で直接説明を伺いました。まるで個別説明会をしていただいたようなもので、それが名経大との縁の始まりです。

なぜ沖縄出身者が北海道警察? と不思議かもしれませんが、元々警察は身近な存在でした。祖父が警察官だったからです。北海道との縁はツーリング。シカとの遭遇など自然を満喫できました。私自身は公道の交通安全を支える白バイ隊員が目標でツーリングで出会った動物や自然を守る、頼もしい警察官になりたいと思います。

経営学部卒業 宮城大魁さん ●硬式野球部 ●沖縄県人会 沖縄県立南部農林高等学校出身



名経大初の角界入り! バスケからラグビーそして力士へ 未経験の挑戦に期待が寄せられている

飯間ルーカス・夫さんが、本学初の力士として大相撲安治川部屋に入門し、しこ名:安強羅(あごうら)として活躍しています。岐阜県可児市出身で、ブラジル国籍の両親のもとに生まれ、中学2年からバスケットボールに熱中。高校は遠方の強豪校に入学するも、怪我が原因で岐阜に戻り、岐阜県立東濃高等学校に1年生から入学しバスケットボールを継続。その後、本学に進学し、バスケットボール部に所属。1年生の秋、ラグビー部から転部の誘いを受けてラグーマンへ転身。彼の恵まれた体格が相撲関係者の目に留まり声をかけられ、「普通の人には回ってこない話で、チャンスだ」と、角界への挑戦を決意しました。ただ、相撲の経験が全くないことから、「相撲サークル」を立ち上げ、大学側もサポート。ラグビー部と兼部しながら、学生相撲大会に出場し、相撲の経験を積みました。結果、大相撲の新弟子検査を受験して合格し、入門を果たしました。また、その異色な経歴が話題となり、新聞やネットニュースなどで大きく報道され、本学の広報にも大きく貢献し、それが評価されて学長賞を受賞しました。

以下、飯間さんをよく知るラグビー部の関係者のコメント「彼は気遣いができ、いつも誰かを気にかける優しい性格。また、何事にも真面目に取り組む性格。だから、彼の相撲界での活躍を皆が願っています。」

法学部卒業 飯間ルーカス・夫さん ●ラグビー部 ●相撲サークル 岐阜県立東濃高等学校出身



「大学表敬訪問」恩師と家族に囲まれ笑顔のルーカスさん

学校法人市邨学園教育研究充実寄附金のお願いについて

学校法人市邨学園では、少子化の進行などにより今後より一層厳しさを増す私学を取り巻く環境を踏まえ、116年積み上げて参りました教育・研究活動の益々の振興充実をはかるべく、「学校法人市邨学園教育研究充実寄附金」(任意)を募集いたしております。

趣旨にご賛同いただき、ご寄附をお申し出いただける場合、またご不明の点などありましたら、右記までご連絡いただけますよう、よろしくお願いたします。なお、本法人は、特定公益増進法人の認定に加え、税額

控除対象法人の認定を受けました。これにより、個人の方のご寄附については、確定申告時に税額控除と所得控除の2つの制度から、より所得税の減税効果が大きい制度を選択することが可能となります。

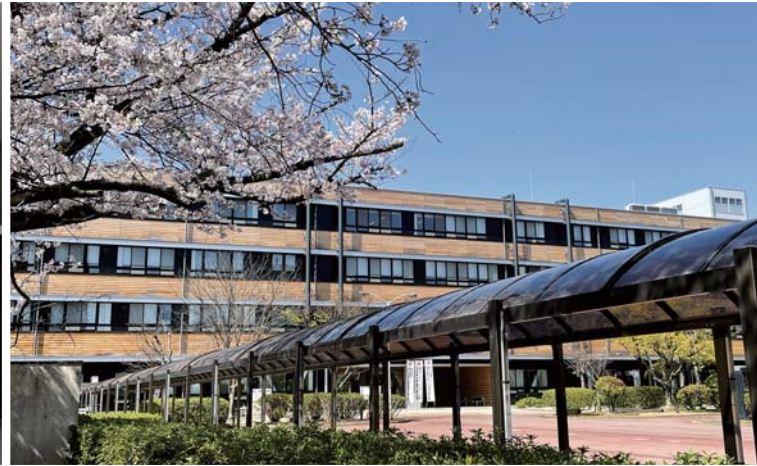
寄附金に関する照会・連絡先

学校法人市邨学園 法人本部(寄附金担当) TEL 052-853-0047(代表)

MEIKEI

あなたのご意見をお聞かせください

「名経大通信」Vol.62について、ご意見や感想などございましたら、広報センター(右記連絡先)までお聞かせください。



イベント Digest 入学式 & 大学顕彰表彰 & 卒業式

2023年度 入学式

4月1日(土)、市邨記念体育館にて名古屋経済大学および大学院の入学式を挙行了。満開の桜に彩られたキャンパスに迎えられ、真新しいスーツに身を包んだ新入生が大学生活の第一歩を踏み出しました。

開式の辞、大学歌の斉唱の後、佐分学長からの告辞、末岡理事長からの祝辞が送られました。さらに来賓として犬山市教育委員会教育長 滝誠氏、犬山市議会議員 三浦知里氏、犬山商工会議所副会頭 伊藤正久氏から祝辞を頂戴しました。

最後には経営学部 西川莉柚さんが新入生を代表して、抱負と決意を込めた「新入生の言葉」を述べて、入学式を締めくくりました。



新入生代表 西川莉柚さん
友人ふたりと記念撮影 西川さん(右)



満開のサクラの花もお出迎え...

2022年度 大学顕彰

学業成績優秀者と学術・文化・スポーツにおいて優れた実績を残した個人、団体に対する「2022年度大学顕彰」受賞者が発表されました。

大学顕彰表彰者一人ひとりには、1年間のたゆまぬ努力を讃えて奨学金が贈られました。今後もより一層の活躍を期待しています。

【学業成績優秀者】

経済学部	経営学部	法学部	人間生活科学部 教育保育学科	人間生活科学部 管理栄養学科
4年 黎 思敏さん	4年 車戸 翔さん	4年 近藤 結麻さん	4年 細谷 陽成さん	4年 水野 桃さん
神谷 庄さん	加藤 李梨さん	山本 佑樹さん	坂手 優心さん	細井 咲良さん
木下 結貴さん	尾藤 由香さん	伊藤 凌矢さん	小塚 創太さん	飯田 七夢さん
3年 岩品 歩未さん	3年 飯田 皓太郎さん	3年 戸田 皓太郎さん	3年 市村 孝徳さん	3年 呉屋 美帆さん
橋本 光さん	山岡 泰士さん	工藤 聡美さん	伊藤 領悟さん	田上 涼斗さん
伊藤 瞭さん	土本 滯さん	柳 美羽さん	西川 美花さん	杉山 璃音さん
2年 加藤 建一郎さん	2年 川村 建登さん	2年 前野 みるきさん	2年 巽 彩夏さん	2年 小穴 果子さん
大野 貴斗さん	牧野 心咲さん	福田 恒一朗さん	水澤 大地さん	中川 冬萌さん
矢澤 慎之介さん	山田 史弥さん	坂井 春空さん	中條 綾乃さん	兼松 沙衣さん

【学術・文化・スポーツに優れた実績を残した学生】

奨励賞

人間生活科学部 管理栄養学科 養輪 かよさん
●中部魚錠株式会社「コラボ恵方巻」のレシピ考案のほか、小牧市や扶桑町での地域活動に参加

経営学部 土本 滯さん
●扶桑町「SDGs木曾川流域の地産地消を楽しむ会」、愛知県「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」研究員として活動

経営学部 レー・クイン・アインさん
●公益法人大学セミナーハウス・留学生新聞共催「留学生論文コンクール2022」において、「グローバルイシューを考える」をテーマに論文「廃棄物処理方法について」を提出し「銀賞」を受賞。(23の大学から29名の学生が応募)

経営学部 川瀬 芽衣さん
●オープンキャンパス・スタッフや自治会執行委員長として活動し、周辺地域では、犬山市竹林整備ボランティア、扶桑町学習支援アシスタントなどさまざまな活動に参加

剣道部

●男子「全日本学生剣道大会」出場 ●女子「全日本女子学生剣道優勝大会」出場

2022年度 卒業証書・学位記授与式

3月18日(土)、市邨記念体育館にて、名古屋経済大学大学院・名古屋経済大学の卒業証書・学位記授与式が執り行われました。学業において優秀な成績をおさめた学生および、文化活動における顕著な成績をおさめた学生を讃え「学長賞」が授与されました。

佐分学長の告辞、末岡理事長の祝辞に続き、来賓の犬山市長 原欣伸氏、犬山市議会議員 三浦知里氏より祝辞を頂戴しました。最後は卒業生を代表し、管理栄養学科 霜田未来さんが「卒業生の言葉」を述べ、名古屋経済大学市邨高校・軽音楽部による「卒業生に贈る歌」が披露され会場を優しく包み込みました。



卒業生代表 霜田未来さん

学長賞受賞者

【学業成績優秀者】

法学研究科 法学専攻 修士課程	法学部	人間生活科学部 教育保育学科
古田 佐智さん	古田 祥輝さん	細田 悠乃さん
経済学部	新美 綾乃さん	人間生活科学部 管理栄養学科
古田 祥輝さん	霜田 未来さん	霜田 未来さん
経営学部		
佐々木 隆汰さん		

【スポーツにおいて顕著な功績があった学生】

法学部	人間生活科学部 教育保育学科
飯間 ルーカス 一夫さん	八木 俊晴さん
●本学初の角界入り、安治川部屋へ入門	●教職免許状を多数取得したほか、バスケットボール部で活躍
法学部	
久保田 康照さん	
●剣道部の活動に真摯に取り組み、2022年度東海予選 ベスト16入賞個人で全国大会に出場	



【文化活動において顕著な功績があった学生】

経済学部
天池 祐斗さん
●パソコンスキルに優れ、Microsoft Office Specialist 2016 Master ほかの上級資格を取得し、IT系企業に就職
経済学部
下田 龍さん
●学内のイベントや犬山市楽田地区でのボランティア活動のほか、犬山市企業マップの作成、花火大会や犬山市観光アンケートへの協力など多くの地域活動に参加

2022年度 「博士号」授与



2022年度は、法学研究科から1名、会計学研究科から2名の計3名の院生が栄えある博士号を取得されました。

法学研究科のブルハノフ・アクマル氏は、「Factors causing corruption in Uzbekistan and creation of a legal framework to prevent them」(ウズベキスタンで汚職を引き起こす要因とそれらを防止するための法的枠組みの作成)により、博士(法学)を、会計学研究科の上野厚子氏は、「利益概念の変化と有価証券の分類・評価に関する研究」により、博士(会計学)を、会計学研究科の吉田尚史氏は、「監査報告書の変革に関する研究」により、博士(会計学)の学位をそれぞれ取得され、素晴らしい成果を上げられました。

これからも、さらなるご活躍を期待しています。

全国保育士養成協議会「会長賞」表彰

全国保育士養成協議会は、保育士養成校を会員とする団体で、毎年、保育士養成課程の成績が特に優れ、保育士として就職が決定した学生に協会より「会長賞」が授与されます。2022年度は、教育保育学科の中尾香月さん(合同会社Renge 放課後デイサービス児童指導員/常葉大学附属常葉高等学校(静岡県)出身)が「会長賞」を受賞しました。



卒業式を終えた中尾さんは、講義室へと移動。教育保育学科主任の塚本教授より会長賞の表彰状を受けとり、同級生からの祝福にも笑顔で応えていました。

全国栄養士養成施設協会「会長賞」表彰 日本フードスペシャリスト協会表彰

管理栄養学科では、卒業とともに栄養士免許が取得できます。また、所定の講義を受講し試験に合格することでフードスペシャリストの資格も取得できます。それぞれ優秀な成績を修めた学生には協会より会長賞、協会表彰が授与されます。

2022年度の表彰者は、全国栄養士養成施設協会「会長賞」には平出里穂さん(株式会社モード・プランニング・ジャパン 雲母保育園栄養士/名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身)が、フードスペシャリスト協会からの表彰には、長屋幸弥佳さん(株式会社シーユーシー・フーズ/菊華高等学校(愛知県)出身)が選出され、それぞれ表彰状を受け取りました。

MEIKEI Festival 第20回 名経祭「常笑氣竜」

3年ぶりの観客動員！学外からの来場者も参加して行われた名経祭。この日のために充電してきた、パワーも全快！学生たちの歓声がキャンパス内に響きわたり、お祭りムードも最高潮。ステージにはパワーあふれるパフォーマーが続々登場！会場も盛り上がり、オイシイ！たのしい！模擬店巡りにも大満足。傘をさしながら見上げるミュージックスターメインは、感動的な後夜祭として「名経祭」を締めくくりました。



名経祭
さんぽ
Performance!



盛り上がるピンコ大会



ラッパー「サンチエス」



沖縄いいね!



ゆるスポーツシーソー玉入れ!



名経祭
さんぽ
Report &
Interview!

プロモデラーを招聘し
プラモデル体験会!
小学生から大人まで
プラモデルファンが大集合



It looks yummy!

名経国際通 de 見つけた ウズベキスタン
串焼きとパン屋 シシケバブで模擬店グランプリ「優勝」

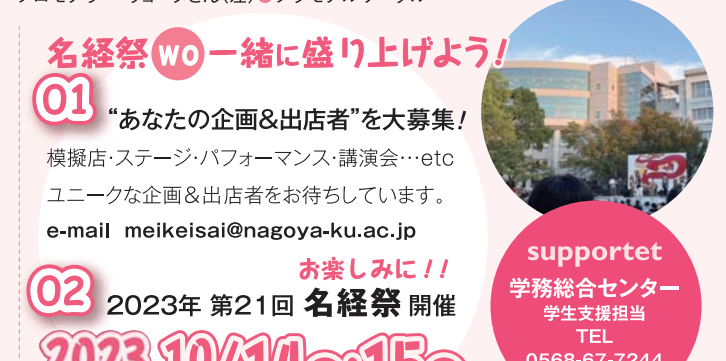
留学生を中心に、故郷の味を紹介しようと「名経国際通・YUMMY STREET」を企画。ウズベキスタン・中国・ベトナム・ネパール・インドネシアの代表的な食べ物を出店。日本は五平餅で応戦！国ごとに特徴ある華やかな飾り付けにも目を奪われるほどでした。



ベトナム代表「バインミー」



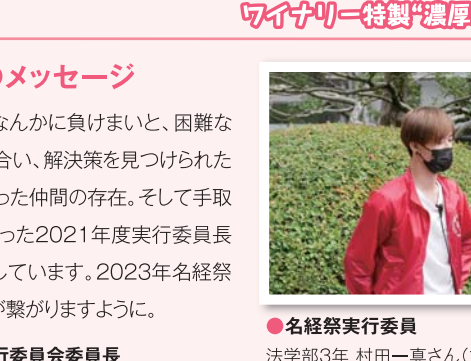
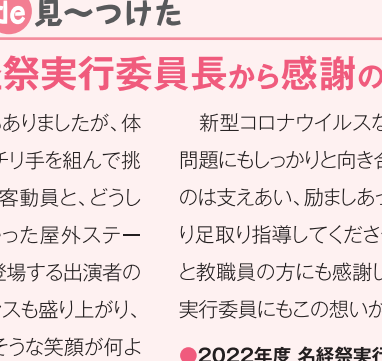
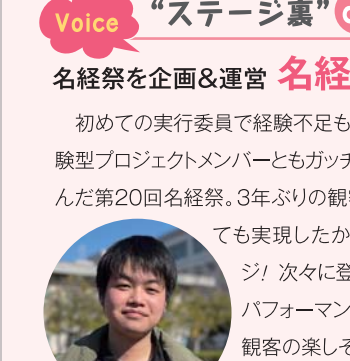
「ナゴヤのソウルフード」たません ● 萩原ゼミ 「コミとコラボ」やきそば ● 濱口ゼミ



プロモデラー・リョータさん(左) ● プラモデルサークル

名経祭 wo 一緒に盛り上げよう!
01 “あなたの企画&出店者”を大募集!
“あなたの企画&出店者”を大募集!
模擬店・ステージ・パフォーマンス・講演会...etc
ユニークな企画&出店者をお待ちしています。
e-mail meikeisai@nagoya-ku.ac.jp
02 お楽しみに!!
2023年 第21回 名経祭 開催
2023.10/14(土)・15(日)
10/14(土)は、オープンキャンパス同時開催!!

supportet
学務総合センター
学生支援担当
TEL
0568-67-7244



Voice “ステージ裏” de 見つけた

名経祭を企画&運営 名経祭実行委員長から感謝のメッセージ

初めての実行委員で経験不足もありましたが、体験型プロジェクトメンバーともガッチリ手を組んで挑んだ第20回名経祭。3年ぶりの観客動員と、どうしても実現したかった屋外ステージ！次々に登場する出演者のパフォーマンスも盛り上がり、観客の楽しそうな笑顔が何よりの喜びです。

新型コロナウイルスなんかには負けまいと、困難な問題にもしっかりと向き合い、解決策を見つめられたのは支えあい、励ましあった仲間と存在。そして手取り足取り指導してくださった2021年度実行委員長と教職員の方にも感謝しています。2023年名経祭実行委員にもこの想いが繋がりますように。

●2022年度 名経祭実行委員会委員長
法学部4年 内藤駿さん 福岡県立北九州高等学校出身

マイナー特製“濃厚どろろジュース”



●名経祭実行委員
法学部3年 村田一真さん(左)
経済学部3年 アスラムフ・シャハブさん(右)

打ち合わせ!!
ステージの袖で
司会・進行のチェック

中部魚錠&管理栄養学科のコラボ恵方巻 「免疫力アップ」をテーマに恵方巻づくりに挑戦

2022年4月にスタートした中部魚錠株式会社(本社:犬山市)と管理栄養学科のコラボ恵方巻づくりでは、「無病息災〜病気に負けない魚屋の恵方巻」をテーマに免疫力を高める効果が期待できる栄養成分を取り入れたレシピ開発に取り組みました。

5月には、中部魚錠本社で「土曜朝市」の見学と「恵方巻の勉強会」に参加させていただき、新鮮な魚介類の販売について理解を深め、店頭で並ぶ種類豊富な魚を実際に目にする事で、恵方巻のイメージを膨らませました。

学生らしいフレッシュなアイデアが盛り込まれたレシピがいくつも誕生。腸内環境を整える発酵食品や、抗酸化ビタミンが含まれる野菜をたっぷり使用したヘルシーなお寿司が多く見られ、学内で試作&試食会を行い、教職員による評価アンケートを実施しました。



土曜朝市の見学

中部魚錠
伊藤正久社長の
講義



魚錠試食会(中部魚錠本社)

プロの手により改良された 「コラボ恵方巻」ついに決定! 販売へ

学生のレシピをベースに、魚錠社員の方々にブラッシュアップしていただいた試作品が完成。試食&検討会を行いました。改良作品は、お寿司の魅力も増して、いっそう美味しく仕上がっていることを実感。社員の方々との意見交換では、商品開発現場を垣間見る貴重な体験ができました。

中部魚錠の社内検討会を経て、節分に販売する「コラボ恵方巻」2種類が決定! にんじん・小松菜・たくあん・チーズが入った具だくさんな恵方巻など、事前予約制で2月3日(金)の節分当日のみ販売されました。

自ら考案したレシピが改良され商品化に結び付いた学生はもちろん、商品化には及ばなかった学生たちも、商品開発の流れを体感できた貴重な経験になりました。社員の方々には学生と接する時間を多く作っていただき、何事にも誠実に向き合う姿を間近で見聞きすることで、社会で働くとはどういうことなのかを勉強させていただけたことに感謝申し上げます。この経験を糧に学生たちは今後、人々の健康のために尽力できる管理栄養士を目指すためのモチベーションを高めてくれると思います。

(人間生活科学部 管理栄養学科准教授 夏目有紀枝)

Voice

「魚、大好き!」からはじまった コラボ恵方巻企画との出会い

管理栄養学科への進学を決めて最初に挑んだ、シーフードソムリエとお魚料理アドバイザーの資格取得は「魚、大好き!」からはじまった挑戦でした。



中部魚錠の土曜朝市見学では、学生が発する多くの質問に現場で働くプロならではの回答をいただきました。本社の講義で聞かせていただいた「お客様に対して誠心誠意、正直な商売に徹する」「時流を見極め、常に新しいモノに挑戦をする」その素晴らしい思いに感銘を受け、学生らしいフレッシュで斬新なアイデアを提案しなくてはと、思いを巡らせ「温めて美味しい魚+チーズ」にたどり着きました。その食材選びと試作には悪戦苦闘。プロの目線から伝えられる的確なアドバイスは励みとなり、商品開発から商品完成、販売までの過程を体験とともに学べた成果は、「犬山市長と語ろう!」でのプレゼンテーションへとつながりました。これまで多くのプロジェクトに参加して得た経験値が、今の私の自信になっています。

人間生活科学部 管理栄養学科4年 石黒李来さん ※レシピ開発当時は3年生名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身

学生の原案から誕生した“恵方巻” 免疫力アップが期待できます

① 味噌薫る二色の醸し巻

●2023年3月卒業生 平出里穂さん

ネギ味噌の風味が特徴のお寿司。マグロ・イカ・蒸し海老入りと、べさは入りの2種のハーフ&ハーフ。



② チーズ in あったか恵方巻 ●4年 石黒李来さん

レンジでチンして食べていただきたいお寿司。うなぎ入りと、サーモン・蒸し海老入りの2種のハーフ&ハーフ。



発売当日、商品を手元に記念撮影 左から石黒さん、中部魚錠営業企画部 伊藤さやかさん、平出さん(魚屋の寿し魚錠 キャスタ食彩館店)

カネスエ&管理栄養学科コラボお惣菜開発 「クリスマスに心ときめくお惣菜」レシピ開発トライアル

株式会社カネスエ(本社:一宮市)と管理栄養学科のコラボ企画、クリスマスに心ときめき、思わず食べたいくなるようなお惣菜のレシピを学生が開発体験するトライアルを実施しました。「犬山学研究センター」の研究スタートアップ支援を受け、2022年8月に学生に向けてレシピ募集のアナウンスを実施。9月に「学内試作・試食&評価」を実施し5点のレシピが選ばれました。選考されたレシピはカネスエ社員へ向けてのZOOMでプレゼンテーション、試食評価を経て菘輪かよさんが考案した野菜たっぷりポテトサラダが最優秀賞に選ばれ、カネスエが実際の実務基準で修正を加え、商品化へ向けた検討がされました。



「ポテサラツリー盛付キット」を使用して完成させた菘輪さんの作品

選考レシピ(2022年9月)

① 白菜ロール〜デミグラスソースかけ〜

●3年 堀行慶さん

② はなやかミートローフ 玉ねぎみかんソース添え

●4年 黒澤裕子さん

③ お野菜とお肉のギュッと串

●4年 松浦光さん

④ カラフルホットポテトサラダ

●4年 水野桃さん

⑤ カリフラワーの豆乳クリームコロッケ

●4年 菘輪かよさん



クリスマスの食卓に彩り 連携企画から誕生! 「ポテサラツリー盛付キット」店頭販売

2022年12月23日(金)~25日(日)、愛知・岐阜・三重・静岡県下のカネスエ一部店舗にて、「クリスマスに心ときめくお惣菜」レシピ開発トライアルをきっかけに誕生した「ポテサラツリー盛付キット」が販売されました。早速、カネスエ五郎丸店のお惣菜コーナーを覗くと、バック詰めされた商品が整然と並べられていました。販売初日、「ポテサラツリー盛付キット」を活用して2年生(※実施当時の学年)の授業で、盛り付け&試食会を実施。それぞれの個性や遊び心があふれる作品がテーブルを彩りました。

美味しさはもちろんのこと、好きな形にアレンジする面白さを満喫することができました。



1号館に掲示された「学内選考レシピ」

9月の学内試作選考に選ばれたレシピは、学生それぞれがリーフレットを作成。本学周辺のカネスエ店舗での展示と、カネスエ公式Twitterと本学のホームページで「クリスマスレシピ集」として公開されています。また、1号館の掲示板や研究室・コミュニティプラザ・5号館などにも掲示され、学生たちの成果を紹介しました。

Voice

ヘルシーなご馳走づくりで クリスマスを楽しみ、美味しく!

カネスエの売れ筋商品は何だろうと、まずは店舗見学へ。そこで

目にしたのはポテトサラダコーナーと揚げ物コーナーの充実。ならば、定番である強みを生かした

新しい商品をあえて提案しようと考えました。食材には茹でた時のホクホク食感がジャガイモに似ていること、ビタミンCが多く含まれて

いるカリフラワーを選択。岩倉市の特産品である

ことも理由のひとつです。カリフラワーに発酵食品の味噌と、豆乳

を加えて目で楽しみ、食べて美味しい、そして栄養満点を狙い「カリ

フラワーの豆乳クリームコロッケ」を提案しました。コロッケとして

提案しましたが、社員の方の目に留まったのは意外にも真ん中に

ツリーのよう盛り付けられたポテトサラダでした。色鮮やかな5種類

の野菜をふんだんに使用したことと盛り付けがポイントだったよう

で、商品はポテト単体ではなく盛り付ける楽しさもプラスした

「ポテサラツリー盛付キット」として店頭で並ぶことになりました。

早速、店舗を訪問。整然と並んだポテトと対面し感動しました。

何度も壁にぶつかり悩んだこともありましたが、商品化までの過程

を体験的に学べる機会を提供して下さったカネスエの皆さんに、心から感謝

しています。また自分が興味を持ってアクションをおこせば、先生

をはじめ多くの方から手が差し伸べられ、世界が広がることを身

をもって知ることができました。

人間生活科学部 管理栄養学科4年 菘輪かよさん

愛知県立千種高等学校出身

※お惣菜開発当時と現在の学年は異なり新学年を表記しています。



学内試作・試食
&選考会



盛り付け&試食会「モリソー・キッコロ」を
連想させる? ユニークな作品



ピクトグラミー

名経祭で「ゆるスポーツ」を紹介

2022年10月9日(日)、コミュニティプラザの1・2階を会場に年齢や性別、運動神経、障がいの有無に関わらず、誰もが楽しめる「ゆるスポーツ」を開催。プレイヤーも観客も、その場にいる人たちが声を出して笑いあい「勝ったら嬉しい、負けても楽しい」新しいスポーツの体験会です。

この日は「イタイッス」「シーソー玉入れ」「ピクトグラミー」「トントンボイス相撲」「緩急走」の5つの競技を来場者と一緒に行いました。

(人間生活科学部 教育保育学科特任教授 長江美津子)



トントンボイス相撲



緩急走

ミズノとコラボ「1Dayスクール」に参加!

2023年3月30日(木)、ミズノ株式会社主催の「1Dayスクール エナジーサポートアリーナ(犬山市体育館)」に教育保育学科の学生が参加しました。ミズノ・プレイヤーさん主導で、小学校入学直前の園児と、小学1年の児童を対象としたプログラムは、全身を思いっきり使う多様な動きが取り込まれ、随所に工夫が凝らされていました。学生主導のプログラムも組み込んでいただき、「五歩鬼ごっこ」「転がしドッジボール」を行いました。「次は何がいい?」と声をかけながら2つのボールや、大きなボールを使い分けたり、同時に使用するなど、



Voice 来場者と「ピクトグラミー」に挑戦中!

「ピクトグラミー」は、モニターに映し出されるピクトグラムと同じポーズを正確に表現し、連続して出題されるポーズをいかに短時間でクリアし、ポイントを加算できるかが勝負の分かれ目です。開催当時は、ゆるスポーツの存在も知らなかったのに、挑戦者を案内するたびに、その楽しさに引き込まれ、障がいの人も楽しめるスポーツの存在に心まで豊かになりました。就職活動中、公務員採用試験の面接でボランティア活動の経験をPRできたことが、合格を引き寄せてくれたように思います。

2023年人間生活科学部 教育保育学科卒業 奥山実奈乃さん
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身 ● 小牧市立古雅保育園勤務



子どもたちを飽きさせない工夫をしました。

朝9時から16時まで、次から次へと遊びが展開され、子どもたちを夢中にさせる仕掛けが盛り沢山。学生にとって、実習とは一味違う刺激的な経験になりました。

(人間生活科学部 教育保育学科教授 多川則子)

Voice 次々出される課題にもすぐに順応する子どもたち

私たちが考えたプログラムに「もっとやりたい!」とリクエストの声が上がり安心しました。一方でプレイヤーさんの無駄のない動きや、目配り、声かけ、園児と小学生の身体能力の違いを考慮しながら、子どもたちを飽きさせない構成力とスピードには、感嘆することばかり。今回の経験から多くのことを学び、もっと頑張ろうと思いました。

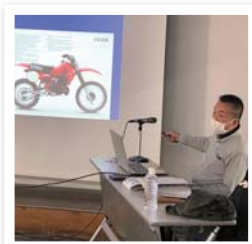


人間生活科学部 教育保育学科4年 岩切愛々さん
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身

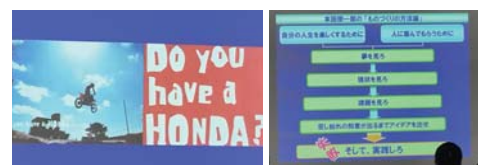
特別講演会「HONDAの原点 ~2人の創業者~」から世界のHondaを知る

株式会社ホンダカーズ東海と連携して開講している体験型プロジェクト(ホンダ)では、2022年12月6日(火)、本田技研工業株式会社 社員の松澤正和氏を招聘し、「HONDAの原点~2人の創業者~」と題した特別講演会を実施しました。松澤氏は、持ち前の鋭い感覚とデザイン力を生かし、広報部コーポレートプロモーション室長として、世界を見据えた企業広告を次々と産み出し、グローバル社会にHONDAを登場させた方といえます。

中でも「Do you have a HONDA?」は、ホンダのチャレンジスピリットを象徴する製品や活動を題材として取り上げ、「Hondaからの熱いメッセージ」として世界に発信し、その時代を風靡する広告として高い評判を獲得しました。また、「The Power of Dreams」は、今日に至るまで本田技研工



講演中の松澤正和氏



ホンダのチャレンジスピリット
「Do you have a HONDA?」
創業者本田宗一郎の
「ものづくりの方法論」

業のグローバルブランドスローガンとして使用されています。

今回の講演は、松澤氏自身の時

代を先取りにした感性からみた、本田宗一郎とその盟友である藤澤武夫という二人の創業者の出会いから始まるホンダの歩みを、当時のエピソードや写真・記録映像のほか、実際の音声も織り交ぜながら紹介いただきました。既存の枠にとらわれない柔軟な発想、情熱と信念に支えられた開発へのエネルギーと機動性、そして、互いに寄せる強い信頼が、静岡県浜松市のHondaを世界のHONDAに導いていった、その姿がリアルに伝わる内容でした。(経済学部特任教授 奥田沙織)

「あつまれ!小牧あそび城」“あそび場”でチャレンジ精神を養おう

2022年10月23日(日)、小牧市のシンボル小牧山を会場に、「あつまれ!小牧あそび城」が開催されました。次代を担う子どもたちが親子で、また友だちとの交流を図りながら故郷への愛着や伝統文化に理解を深め、チャレンジ精神を養うことを目的に開かれたこの企画に教育保育学科の学生が参加しました。学生たちが担当したのは、こま、竹とんぼ、輪投げ、しゃぼん玉などの伝統的なあそびと、レクリエーション用具を使用するモルック、ポッチャー、ラダーゲッターに代表される比較的新しいあそび。小牧山「桜の馬



学生が見守る中、高得点獲得! “竹とんぼ”高く舞い上がれ

場」の一角にあそび広場を設置して青空の下、年長から小学生の子どもとその家族をあそびの世界へと誘いながら、共に楽しい時間を過ごすことができました。



“ポッチャー”で兄弟対決
ボールの行方をしっかり読んで

Voice 木のぬくもりを感じるお手軽スポーツ

モルックは、フィンランドの伝統的なゲームを元に開発されたアウトドアスポーツ。ピンを倒すところはボーリングのようで、倒れたピンに書かれた数字が得点になります。子どもたちは、木と木がぶつかりあう心地よい音を響かせながら、何度もピンを倒しては並べてくりかえし、その楽しさにはまったよう

でゲームの楽しさを満喫していました。

人間生活科学部 教育保育学科3年 市村孝徳さん
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



高山市で「買い物困難者」について実地調査 研究成果を「飛騨高山学会」で発表報告!

地方都市では中心市街地の空洞化が進み、交通弱者である高齢者の買い物環境が問題になっています。そこで、経済学部の当時3年で、この4月より4年の村山ゼミ生19名が「買い物困難者」の実地調査に高山市を訪問。中心市街地における高齢者の食料品アクセス問題について、高山米穀協業組合と飛騨高山大学連携センターの協力を得て、商店街で店舗営業する地元スーパーにヒアリングを実施し、御用聞き・宅配サービスに同行させていただき顧客アンケートをとりました。また、まち歩きをしながら高齢者が買い物に出かける際の危険箇所も観察しました。調査中、岐阜新聞と

NHKから取材を受け「NEWS WEB」にも取り上げていただきました。

2022年12月10日(土)、第4回飛騨高山学会で研究成果を発表報告。「地元企業による食料品アクセス問題に対する取り組みと課題」では、消費者が必要な食料を必要とするタイミングで届けることの重要さと、難しさについて検討。「高齢者の買い物行動に伴う潜在的リスクの可視化」では、視認性の低い交差点や交通量の多い狭隘道路、道路の段差や舗装の陥没など高齢者の買い物行動に伴う各種のリスクについて、実際にまちを歩き、観察して得た情報を地図に描き出しました。(経済学部教授 村山徹)

Voice NHK(NEWS WEB)や岐阜新聞に取り上げられた「高山市実地調査」

先輩たちからの問題提起を引き継ぎ2022年の夏、当時の経済学部3年生が「買い物困難者」について高山市現地調査を行いました。自転車でもまった高山市街地、中心地だけでも30ヶ所にも及ぶ道路の段差や陥没が見つかり、高齢者にとってこれは大問題。



「買い物困難者」実地調査にて 青木さん(右) 経済学部4年 青木楓さん 愛知県立一宮北高等学校出身

調査で得た情報を地図に描き出しスライドを作成して飛騨高山学会での発表に備えました。

今回行った高山市での現地調査の様子をNHKや岐阜新聞から取材を受け、取り上げていただいたことで多くの方に高山市の現状を知っていただき、問題提起ができたことを嬉しく思います。



「飛騨高山学会」発表スライドを作成

Voice 「飛騨高山学会」報告発表を契機にリーダーとしての成長を実感

御用聞きサービスに同行して利用者を対象に実施したアンケート調査は、「収益・環境・訴求」3つの観点からサービスの質を分析し、結果を飛騨高山学会で発表しました。発表を通じてさまざまな企業に高山市の現状が伝わり興味を持っていただけたらと思います。また、犬山市役所でのインターンシップ経験から、観光都市高山と犬山には類似点が多く、地元犬山にも還元できるのではと考えています。

報告書の作成や、情報収集・共有の方法などを導き出すための苦労はありましたが、発表を終えリーダーとして成長できたことに喜びを感じています。

経済学部4年 鏡田明理さん 飛騨高山学会で発表する鏡田さん(右)
愛知県立春日井西高等学校出身



高山市に関する学習会(高山市役所)



高山市「買い物困難者」実地調査参加メンバー

2022年度は「わいわい犬山フェスティバル」の名MCで大活躍「犬山観光学生大使」として2年連続！犬山を世界にPR

昨年度から2年連続で犬山観光学生大使を務める深谷さんは、他の3名と共に任命式に臨み、国宝犬山城をバックに笑顔で記念写真に収まりました。昨年までは規模を縮小して開催されてきましたが、今年は、宵祭りから試楽祭、本楽祭まで完全復活された犬山祭が、彼女たちの初仕事になりました。「わいわい犬山フェスティバル」では犬山市の公式キャラクターわん丸君のお誕生日会に、会場の席数を大きく上回る大勢のファンが詰めかけ、急遽2回目のお誕生日会が設定されるほど大盛況！元気パワーとキュートな笑顔で、時には客席に降りて子どもたちとふれあい、会場を盛り上げました。



2023年度
第11代
犬山観光学生大使

左から法学部4年 深谷愛弥さん、経営学部4年 ワオン・ティ・トゥ・ザンさん ▲ 経済学部3年 深澤綾香さん、経営学部2年 橋本優花さん



Voice 観光都市「犬山」から笑顔の国際交流

昨年一番印象に残ったのは「わいわい犬山フェスティバル」の司会進行。3年ぶりの対面開催で、たくさんの来場者をお迎えできました。特にわん丸君のお誕生日会は、子どもから大人まで皆さんの笑顔と歓声によりたくさんの元気をいただきました。地元の皆さんの温かな人柄や犬山を愛する気持ちに少しでも応えようと、今年度の初仕事「犬山祭」では苦手な英会話にも挑戦！犬山の魅力を世界へ発信できました。



法学部4年 深谷愛弥さん 名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



わん丸君グッズ争奪ジャンケン大会「じゃんけんぽん！」

地域の未来を応援しよう！地元の学生が扶桑町制70周年「町勢要覧」制作の一翼を担う

扶桑町制70周年を記念し刷新された「扶桑町町勢要覧」扶桑町マップの作成に、扶桑町在住の学生3名が協力しました。町勢要覧を受け取る玉谷さん(右) 2021年の秋からアイデアを出し合い、町内のおすすめスポットを地区ごとに調査・取材を実施。そこで得た情報は、アプリを通して共有され「名古屋経済大学の学生とつくる扶桑町マップ」として見開き2ページが完成。扶桑町の魅力発信の一翼を担うことができました。



Voice 地域活動でのタネ蒔きが実を結んだ

高校生の頃からボランティアやワークショップに積極的に参加していたことで声をかけていただき、町制70周年記念実行委員として会議や活動に参加。さらにマップづくりに関わられたことで、新たな町の魅力を発見することができました。今後も若者がまちづくりに関心を持てるようなイベントの創生にも関わりたいと思っています。卒業までの期間、IT関連の資格取得を目指す後輩たちの受験サポートができればと考えています。私自身も共に学ぶことで新たな発見も多く、人間的に成長できるように精進しようと思います。経営学部4年 玉谷駿弥さん 愛知県立犬山高等学校出身

尾張に春を呼ぶ大縣神社「豊年祭」勇ましいラグビー部員たちが神輿を奉納

3月12日(日)は、地元犬山市にある大縣神社の「豊年祭」。五穀豊穡と国家安泰を祈願するこの祭りに、ラグビー部員が株式会社コモに代わって大鏡餅を本殿に奉納しました。新型コロナウイルス禍の過去3年を経て、4年ぶりの大鏡餅奉納パレードという大役を地域住民、祭りに参加された皆さんからの熱い声援を励みとし、無事に果たすことができました。



Voice 積極的な地域貢献で頼られるラグビー部へ

由緒正しく素晴らしい行事に参加することができ、とても光栄に感じています。今後も地域貢献に励み、皆さんから愛され、頼りにしていただけるラグビー部を目指して日々努力していきますので、これからのラグビー部に期待と応援をよろしく願っています。法学部4年 泉羽矢斗さん ●2023年度ラグビー部キャプテン 新田高等学校(愛媛県)出身

前犬山市長のキャリアを生かし、地方創生研究と次世代教育で母校へ貢献

生まれも育ちも犬山市で、本学での学生時代は、勉学に遊びにと充実した日々を送りました。「将来は、犬山市長になる」と決意したのは、国政選挙の手伝いをしていた22歳の時。政治に関心を持ち、犬山市をより良くしたいと考えていました。議員秘書を経て犬山市議会議員選挙に出馬し、26歳で初当選。市議会議員として市政に携わった後、41歳で犬山市長選に初当選し2期8年犬山市長を務めました。市長の仕事は多岐に渡ります。市のルールや予算編成を考え、議会で議論し施策を進めます。また、市民の声を聞くことも大切な仕事のひとつで、地域行事への出席や対外的な公務もあります。「正直にいていねいに、本気で向き合う」という姿勢の元、子育て支援や行政サービスのデジタル化など時代に即した市政に取り組んできました。

2023年度より本学の犬山学研究センター特任教授に就任し、地域創生に関する副専攻のカリキュラムづくりに関わっています。科学技術が発展しても、人間にしかできない営みがあります。それは「新しい価値を生み出す」ということです。新しい価値を創造し地域を活性化するには、どうすればより良くなるのかを、本気で考えて行動することが不可欠です。幸い犬山市は



交通アクセスが良く、犬山城や犬山祭などの地域資源にも恵まれ、地域コミュニティの活動も活発な土地柄です。本学の特色である「地域と連携した学び」、「一に人物、二に伎倆」という建学の精神を大切に、創造力や人間力を養う教育を実践したいと考えています。(犬山学研究センター特任教授 山田拓郎)



1973年犬山市生まれ
1995年名古屋経済大学経済学部を卒業 その後民間企業勤務 政治家秘書を経て
1999年犬山市議会議員に初当選し、2014年まで4期務める
2014年第7代犬山市長に就任し、2022年まで2期8年務める
2023年名古屋経済大学特任教授に就任

多文化 Exchange 多文化交流

ウズベキスタン・カナダ・ベトナム・マレーシアへの海外派遣 開南大学で中国語オンライン講座を実施

本学は、「地域に密着したグローバル人材の養成」を掲げ、海外研修・留学プログラムによる海外経験のステージを用意しています。2022年度は、ウズベキスタン短期研修プログラム(春季)、カナダ英語文化研修プログラム(夏季・春季)、ベトナム経済・社会研修(春季)、マレーシア短期語学研修(春



ハノイ大学日本語学科の授業に参加(ベトナム)

季)を実施し総数14名の学生がそれぞれのプログラムに参加しました。また、協定校でもある台湾・開南大学の中国語オンライン講座には4名の学生が参加し、多文化理解と語学習得を目指しました。今回は、ウズベキスタンとベトナムの研修をピックアップ。参加した学生のメッセージをお伝えします。

Voice ウズベキスタン短期研修プログラム(2023.3.6~14) 日本の伝統文化をウズベキスタンでも違いを知ることで相互理解が生まれる

文化や価値観の違いを実体験しようと、ウズベキスタン短期研修に参加しました。1コマを使つての自主的プレゼン「日本文化を伝えよう」では書道とかかるた、折り紙を現地の学生に紹介。「難しい」と言いながらも、次第にコツをつかみ、楽しんでいただきました。現地学生との交流は今も継続中。「かるた・折り紙」で日本文化を紹介



岩田さん(右) 経済学部4年 岩田拓真さん 愛知県立一宮北高等学校出身

Voice ベトナム経済・社会研修(2023.2.13~18) 興味や関心がわくと、もっと、もっと知りたい 知ることでどんどん楽しくなっていく

長期留学は授業の予定もあり諦めていましたが、短期研修があることを知り参加。日本ではベトナムといえばフォー(Pho)が有名ですが現地では「ブン(Bun)」がポピュラーな麺料理です。味付けも私の好みでした。特別プログラムではハノイ大学の日本語クラスの授業に参加でき、仲良くなった学生とSNSでの情報交流が今尚続いています。「もっともっと海外のことを学びたい」自分が動けば世界



夜の散策「ハノイ大教会」

が広がることを研修で実感できました。人間生活学部 管理栄養学科3年 中井碧さん 愛知県立大府高等学校出身 ハノイ大学・交換留学生と中井さん(右)

